



もうすぐホタルが 飛びかいます



二子塚古墳の堀に幼虫を放流する東部小児童

五月二日、宮津の二子塚古墳でヘイケボタルの幼虫放流式が行われま
した。
この日は東部小学校五年生と六年
生の児童百六人が一年かけて育てて
きた幼虫千匹を古墳の堀に放流しま
した。
平成十六年からこの場所に放流を
始めて今年で三年目。毎年、成虫に
なったホタルが飛びかう姿が観察さ

れています。

環境委員会の児童が中心となり幼虫を育てたり、児童会が二子塚古墳の周りを掃除して「クリーン活動」を行うなど学校全体でホタルの保護に努めています。

放流を終えた後、環境委員長の藤井俊樹君が「放流した幼虫が立派な成虫になるよう見守っていきます。東部小の周りでも、今まで以上にホタルがいつぱい飛びかう環境になるよう努力します」と誓いの言葉を述べました。

東部小学校では校内の養殖場「ホタルワールド」にも幼虫が放流されています。六月二十二日と二十三日の二日間、夜間開放をしてホタル鑑賞会が行われます。



東部小「ホタルワールド」に幼虫を放流する児童



「ピオトープ」に幼虫を放流する坂部さんと北原保育園児

五月十二日には、坂部三郎さん(大
字白沢)が知人の休耕田を借りて
造った「ピオトープ」(生物を共存さ
せた人工的な空間)に北原保育園児
を招き、ヘイケボタルの幼虫を放流
しました。

坂部さんは昨年、東部小から五百
匹の幼虫をもらい、成虫を育てた後
今年三千匹に幼虫を増やしました。



園児たちはコップに入った幼虫を
珍しそうに眺めながら、水路に放流
しました。坂部さんは、「ピオトー
プという自然に近い環境の中で育っ
たホタルを多くの人に見てもらいた
い」と話していました。

今年も六月中旬ごろには、ヘイケ
ボタルが淡い光を放ち、飛びかう姿
がいろいろな場所で見られそうです。

**ホタル保護についての
標語大募集**

阿久比町のホタルを保護し、ホタ
ル飛びかう住みよい環境づくりを呼
びかける標語を募集します。

優秀な作品はホタル観察会開催時
に、ふれあいの森体育室で掲示し、
広報あぐいにも掲載します。

応募された方には参加賞をさしあ
げます。

応募方法

応募は一人一点でお願いします。
提出は持参・郵送・FAX・E
メールのいずれかをお願いします。
記入様式は任意で結構ですが、必
ず住所・氏名・電話番号を記入し
てください。

応募締切 六月十六日(金)必着
応募・問い合わせ先
企画財政課
〒470 2292
阿久比町大字卯坂字殿越50
☎(48)1111(内303)
FAX(48)0229
E mail: kikaku@town.agui.g.jp